

令和7年度

 新座市学校応援団の実践 



新座市教育委員会

令和8年3月

新座市教育委員会教育長あいさつ

新座市教育委員会教育長
金子 廣 志

学校応援コーディネーターと、各中学校区で選出された地域コーディネーターを中心とした学校応援団を、平成20年10月の「新座市学校応援団推進事業実施要項」を基に、市内すべての小・中学校に組織してから17年目となりました。近年、いじめや不登校等、学校が抱える課題が多種多様化し、子供を取り巻く環境が急激に変化している中で、学校・家庭・地域が一体となって子供たちを育成していくことがより重要となっております。

埼玉県第4期教育振興基本計画では、目標の1つに「家庭・地域の教育力の向上」を掲げ、施策として「地域と連携・協働した教育の推進」を設定しています。具体的には、地域住民の参画を得て取り組む「学校応援団」の活動を基盤に、学校と地域等の関係を双方向の関係に発展させ、地域全体で子供の学びや育ちを支えることが求められています。

このような中であって、本年度は3月に地域学校協働活動講演会を開催いたしました。本会では、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動が一体となった「地域協働学校」の先進的な取組を学び、「教育の現状維持は後退である」という認識の下、さらなる一歩前へと踏み出すことの重要性を共有する場となりました。学校運営協議会での「熟議」を通じたアクションプランの作成や、学校応援団を「学びのサポーター」として教育課程に位置付けることで学校の教育活動全体に地域の知恵と力を組み入れていくこと、また、教室に入ることが困難な子供たちへの「学びの多様化教室」における支援や、デジタルツールを活用した円滑な情報共有による「自走」した地域協働活動の推進など、本市でも今後の推進が期待される事例を数多く共有することができました。

一方で、本市においても既に他市他県に誇ることができる魅力的な取組が数多く実践されております。各学校におかれましては、本市が積み上げてきた絆と、新たな知見を融合させ、学校応援団事業をさらに深化させるため、本実践集を十分活用していただければ幸いです。

最後になりましたが、各学校の教育活動にお力添えいただきました学校応援団の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

も く じ

新座市教育委員会教育長あいさつ	・・・ 1
もくじ	・・・ 2

新座市学校応援団推進事業の概要

成果と課題	・・・ 4
推進事業組織図	・・・ 6
学校応援団実行委員会開催要項	・・・ 7
学校支援地域本部開催要項	・・・ 8
学校応援団事業実施要項	・・・ 9
学校応援団活動保険概要	・・・ 10
学校別登録団体と活動人数	・・・ 12
学校応援団活動回数	・・・ 18
文部科学省資料「学校を核とした地域力強化プラン」	・・・ 19
文部科学省資料「地域と学校の連携・協働体制構築事業」	・・・ 20

各学校応援団の実践

大和田小学校	・・・ 22	池田小学校	・・・ 30	新座小学校	・・・ 38
西堀小学校	・・・ 23	新堀小学校	・・・ 31	新座中学校	・・・ 39
片山小学校	・・・ 24	東野小学校	・・・ 32	第二中学校	・・・ 40
第四小学校	・・・ 25	栄小学校	・・・ 33	第三中学校	・・・ 41
八石小学校	・・・ 26	石神小学校	・・・ 34	第四中学校	・・・ 42
東北小学校	・・・ 27	新開小学校	・・・ 35	第五中学校	・・・ 43
野火止小学校	・・・ 28	栗原小学校	・・・ 36	第六中学校	・・・ 44
野寺小学校	・・・ 29	陣屋小学校	・・・ 37		

新座市学校応援団

推進事業の概要



令和7年度新座市学校応援団 成果と課題

学校応援団推進事業の目的

- 教員が子どもと向き合う時間を増やす
- 地域住民の学習成果の活用機会の拡充を図る
- 家庭・地域の教育力の活性化を図る

令和6年度	226団体	8,472人（登録人数）	令和7年3月時点
令和7年度	229団体	8,905人（登録人数）	令和8年3月時点

1 令和7年度の成果

(1) 学校応援団の組織

- ・学校・家庭・地域の連携の定着と多様な参画が実現している。
- ・PTAや地域団体、町会、シルバー人材、企業等との連携事例が複数校で確認でき、コミュニティ・スクールの趣旨が現場に根付いている。
- ・「できる人が、できる時に、できること」をモットーとする柔軟な参加設計により、参画のハードルを下げている。

(2) 安全面、学習のサポート

- ・読み聞かせ、図書整理、環境美化、登下校見守り、学習・行事の補助、校外学習の安全見守りなど、教科支援から生活・安全まで幅広い領域で継続的に実施することができた。
- ・読み聞かせの継続により、言語感覚・語彙・表現力・想像力の育成に効果。ミシン等の実技補助で学習の到達度・自信が向上した。
 - ・学校教育の質向上と児童生徒の資質・能力の育成に寄与している。
 - ・校内外の環境整備（花壇、除草、掲示物等）により、学習環境の改善と学校への愛着・自己肯定感の醸成が確認できている。
 - ・ボランティアの専門性活用（茶道・和太鼓・工作等）で、学校単独では難しい体験活動が実現している。

(3) 広報活動の推進

- ・情報発信と募集の工夫による参加機会が拡大した。
- ・学校配信アプリ、フォーム、HP、チラシ掲示、オープンチャット等を活用し、募集から運営までの手続の簡素化に成功している事例が複数ある。

(4) その他

- ・花壇アート、除草の共同作業、読み聞かせ、行事サポート、企業連携など、義務教育後期でも地域参画が機能している。

2 令和7年度の課題

(1) 学校応援団の組織

- ・多くの校で、参加者の固定化や高齢化、複数回参加者への依存が指摘され、担い手の世代交代・層の拡大が課題である。

(2) 応援ボランティアの募集

- ・保護者・地域への更なる周知・呼びかけ、役割分担（副団長等）の担い手確保が難しくなっている。

(3) その他

- ・参画拡大に向けた広報・コーディネート機能の一層強化する必要がある。
- ・活動の周知不足が参加低調の要因となった事例がある。発信のタイミング・媒体の最適化、ターゲットを意識したPRが必要。
- ・熱中症リスク期の屋外活動や、大規模除草・清掃の運営負荷、安全配慮（用具・導線・保険等）の標準化が必要。
- ・企業、大学、NPO、シニア・若年層、外国籍住民など、多様な人材の参画ルート開拓が十分とは言えず、担い手拡大に向けたネットワーク化が必要。

3 来年度へ向けて

重点課題

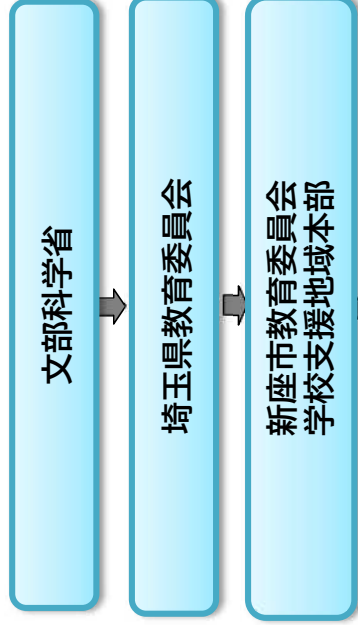
- 1 学校応援団の組織の充実（学校運営協議会との一体的な推進）
- 2 世代交代による後継者の育成や地域人材の発掘（目標値：登録人数 10,000 人）
- 3 学校応援コーディネーターの役割の明確化

学校応援団は、市内小中で多様かつ継続的に機能し、教育の質向上・環境整備・児童生徒の成長、教職員の負担軽減に明確な効果を上げている。一方、担い手の固定化・高齢化、広報・募集の課題、活動の持続可能性・安全管理の標準化、新規人材の発掘が共通課題。

今後は、各校の好事例（アプリ・フォーム活用、チラシ・掲示板・HP 連動、企業連携、親子活動化、柔軟な参加設計等）を横展開し、市としてコーディネーター育成・情報発信支援・安全運営ガイドの整備、関係団体・企業・大学との連携枠組み強化を進める。

併せて、地域クラブ活動の推進やコミュニティ・スクールの枠組みと連動し、学校応援団の体制強化・担い手拡大を図ることで、持続可能な地域ぐるみの教育支援の基盤を高めていく。引き続き、各校から教育支援課へ情報共有いただき、好事例の集約・発信を進めていく。

新座市学校応援団推進事業組織図



新座市学校応援団実行委員会(15名以内)

- : 事務局 (教育支援課)
- : メンバー 学識経験者 (1名) ふれあいネットワーク会長 (1名)
- 地域関係者 (6名: 地域コーディネーター) 学校関係者 (2名) 行政関係者 (3名)

各中学校区学校応援団

地域コーディネーター1名 ふれあい地域連絡協議会会長 各小学校区学校応援コーディネーター

中学校区	中学校	小学校	活動内容
新座中学校区学校応援団	新座中学校 野火止小学校 陣屋小学校		各校ごとに設置 ◎学校応援 コーディネーター ○安心安全支援 ○環境整備支援 ○学習支援 ○行事支援 等
第二中学校区学校応援団	第二中学校 大和田小学校 東北小学校 東野小学校		各校ごとに設置 ◎学校応援 コーディネーター ○安心安全支援 ○環境整備支援 ○学習支援 ○行事支援 等
第三中学校区学校応援団	第三中学校 片山小学校 第四小学校 池田小学校 栄小学校		各校ごとに設置 ◎学校応援 コーディネーター ○安心安全支援 ○環境整備支援 ○学習支援 ○行事支援 等
第四中学校区学校応援団	第四中学校 新開小学校 新座小学校		各校ごとに設置 ◎学校応援 コーディネーター ○安心安全支援 ○環境整備支援 ○学習支援 ○行事支援 等
第五中学校区学校応援団	第五中学校 八石小学校 野寺小学校 栗原小学校		各校ごとに設置 ◎学校応援 コーディネーター ○安心安全支援 ○環境整備支援 ○学習支援 ○行事支援 等
第六中学校区学校応援団	第六中学校 西堀小学校 新堀小学校 石神小学校		各校ごとに設置 ◎学校応援 コーディネーター ○安心安全支援 ○環境整備支援 ○学習支援 ○行事支援 等

新座市学校応援団実行委員会開催要綱

(趣旨)

第1条 本市における学校応援団推進事業(以下「事業」という。)の普及啓発、事業の成果の報告等を実施し、事業の効果的な展開を図るため新座市学校応援団実行委員会(以下「実行委員会」という。)を開催することに関し必要な事項を定めるものとする。

(意見を求める事項)

第2条 実行委員会において意見又は助言を求める事項は、次のとおりとする。

(1) 各校における事業の支援に関すること及び、学校応援団間の情報交換に関すること。

(2) 事業の普及啓発等に関すること。

(3) 前2号に掲げるもののほか、事業に関し必要な事項

(参加者)

第3条 教育長は、別表に掲げる者のうちから、必要と認める者に対して実行委員会への参加を求めるものとする。

2 前項の場合において、教育長は、原則として、同一の者に継続して実行委員会への参加を求めるものとする。

(運営)

第4条 実行委員会の参加者は、その互選により実行委員会を進行するための委員長を定めるものとする。

2 委員長は、副委員長を委員の中から選任する。

3 教育長は、必要があると認めるときは、実行委員会に関係者の出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第5条 実行委員会の庶務は、学校教育部教育支援課長において処理する。

(施行の細目)

第6条 この要綱に定めるもののほか、実行委員会に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この要綱は、平成20年10月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成21年6月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成30年1月1日から実施する。

別表(第3条関係)

1	学識経験者	学識経験者
2	新座市ふれあいネットワーク会長	地域関係者
3	地域コーディネーター (新座中学校区)	地域関係者
4	地域コーディネーター (第二中学校区)	地域関係者
5	地域コーディネーター (第三中学校区)	地域関係者
6	地域コーディネーター (第四中学校区)	地域関係者
7	地域コーディネーター (第五中学校区)	地域関係者
8	地域コーディネーター (第六中学校区)	地域関係者
9	新座市小学校長会 会長	学校関係者
10	新座市中学校長会 会長	学校関係者
11	学校教育部長	行政関係者
12	学校教育部副部長	行政関係者
13	中央公民館長	行政関係者

新座市学校支援地域本部開催要綱

(趣旨)

第1条 本市における学校応援団推進事業の推進に当たり、意見又は助言を求めるため、新座市学校支援地域本部(以下「地域本部」という。)を開催することに関し必要な事項を定めるものとする。

(意見を求める事項)

第2条 地域本部において意見又は助言を求める事項は、次のとおりとする。

- (1) 事業の企画、運営に関すること。
- (2) 各校における事業の支援に関すること。
- (3) 事業の普及啓発に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、事業に関し必要な事項

(委員)

第3条 地域本部の委員は、別表に掲げる職をもって当てる。

(運営)

第4条 会議を進行するための本部長には教育長が当たり、副本部長は学校教育部長が当たる。

2 地域本部の会議は、教育長が必要があると認めるときは、地域本部の関係者に出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第5条 地域本部の庶務は、学校教育部教育支援課において処理する。

(施行の細目)

第6条 この要綱に定めるもののほか、地域本部に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年10月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成30年1月1日から実施する。

別表(第3条関係)

1	教育長
2	教育総務部長
3	教育総務部生涯学習スポーツ課長
4	学校教育部長
5	学校教育部副部長
6	学校教育部教育支援課長
7	学校教育部教育相談センター室長

新座市学校応援団推進事業実施要項

新 座 市 教 育 委 員 会

平成20年10月22日教育長決裁

1 趣 旨

家庭を含む地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員の子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の拡充及び家庭・地域の教育力の活性化を図る。具体的には、「学習への支援」「安心・安全への支援」「環境整備への支援」等の活動にあたるものである。

2 実施体制

(1) 学校支援地域本部について

教育長は、必要に応じて新座市学校支援地域本部(以下「地域本部」という。)を開催する。地域本部は、教育長を本部長とする行政関係者を委員とし、事業の企画、運営、各小・中学校に設置される学校応援団における事業の支援、事業の普及啓発等について意見又は助言を行う。

(2) 新座市学校応援団実行委員会について

新座市学校応援団実行委員会(以下「実行委員会」という。)は、学識経験者、地域関係者、学校関係者、行政関係者を委員とする。実行委員会が必要に応じて開催し、学校応援団間の情報交換、及び事業の普及啓発等について意見又は助言を行う。

(3) 各小・中学校学校応援団について

「学校応援団」は、各小・中学校における教育活動に協力し支援するために家庭・地域のボランティアで構成する。

各学校には、学校と学校応援団の調整役である学校応援コーディネーターは、家庭・地域ボランティアの代表から一人又は複数名を選出する。

(4) 中学校区学校応援団について

中学校区学校応援団とは、中学校区の学校応援コーディネーターとふれあい地域連絡協議会代表により構成する。

中学校区に、各小・中学校学校応援団の連携を図り、調整役となる地域コーディネーターを1名配置する。地域コーディネーターは、各学校の学校応援コーディネーターとふれあい地域連絡協議会の代表の中から選出する。

地域コーディネーターは実行委員会に参加し、各学校応援団の要望等を報告するものとする。

附 則

この要項は、平成20年10月23日から実施する。

附 則

この要項は、平成24年6月1日から実施する。

附 則

この要項は、平成26年4月1日から実施する。

令和7年度新座市学校応援団活動保険概要

1 名称

新座市学校応援団傷害保険及び賠償責任保険

2 目的

- (1) 学校応援団活動（学校行事や事業等）に関わる方がさまざまな急激かつ偶然な外来の事故によって障害（ケガといいます）を被り、医師の診断を受けた場合等に以下【傷害保険】5(1)(2)(3)の内容のとおり、保険金を支給するものとする。
- (2) 学校応援団活動（学校行事や事業等）に関わる方が偶然な事由による事故によって第三者にケガを負わせてしまったり物品を破損してしまったりした場合等に以下【賠償責任保険】の内容のとおり、保険金を支給するものとする。

3 条件

- (1) 学校管理下であること。
- (2) 学校主体となって組織した団体若しくは個人であること。

4 対象

以下の【保険対象】のとおりです。

5 補償内容

【傷害保険】

- (1) 死亡・後遺傷害保険金 450万円
(事故後180日以内に死亡又は後遺症が発生した場合)
- (2) 入院保険金 日額 3,000円(給付・期間日数180日限度)
- (3) 通院保険金 日額 2,000円(給付・期間日数90日限度)

【賠償責任保険】

- | | | |
|----------|-----|---------------|
| 施設 共通限度額 | 1事故 | 5,000万円(免責なし) |
| 受託物 | 1事故 | 1,000万円(免責なし) |
| 生産物 | 1事故 | 5,000万円(免責なし) |

6 事故処理

- (1) 事故が発生しましたら、速やかに「事故報告書」(Yフォルダ内→市内共通フォルダ→教育支援課→●学校応援団→様式)を作成の上、教育支援課まで電子メールを送信してください。記入内容は以下のとおりお願いします。
 - ① 負傷者の氏名・住所・電話番号
 - ② 事故の日時・場所・状況
 - ③ 怪我の箇所
 - ④ 病院名・電話番号
 - ⑤ 管轄の学校名・連絡先等

【保険対象】

No.	活動分類	主な活動内容
1	読み聞かせボランティア	読み聞かせ、読書指導、音読など
2	校舎内外パトロール	校舎内外のパトロールなど
3	クラブ活動支援ボランティア	クラブ（運動系、文科系）指導
4	授業支援ボランティア	授業においてのお話や、作品づくり（戦争体験、地域の様子、農家の話、職場、就職など） 水泳指導、草花観察、音楽鑑賞、授業において補助（ミシン）、国語（発声の仕方）、特別活動（薬物乱用）、理科（野鳥観察）など
5	学習支援ボランティア	ピアサポーター、学習プリント採点など
6	環境美化ボランティア	花壇づくり、除草作業、ペンキ塗装など
7	給食、清掃指導及び補助ボランティア	給食指導、生活指導補佐員など
8	福祉活動ボランティア	福祉活動
9	清掃活動（校地内外）ボランティア	校庭清掃、校舎清掃、ペンキ塗装、通学路清掃など
10	学校図書館ボランティア	学校図書館業務
11	体験学習ボランティア	農業体験、福祉教育体験など
12	学校行事支援ボランティア	儀式招待、行事招待など
13	農業支援員	農業支援員
14	学校運営協議会委員	学校運営協議会委員

新座市学校応援団学校別登録団体と活動人数（学校順）

※有償ボランティアは除く

※人数欄 - は登録制ではなく都度協力者を募る活動

新座市教育委員会
令和8年3月現在

学校番号	学校名	活動内容	人数
1	大和田小学校	読み聞かせ	25
		学校安全ボランティア	21
		農業支援員	1
		学生ボランティア	5
		学校の花壇等花の管理	60
		家庭科学習支援	8
合計人数			120
2	西堀小学校	読み聞かせボランティア	20
		図書ボランティア活動（さくらんぼ）	10
		おやじの会	-
		家庭科学習支援隊	4
		こすずめ隊	3
		学校農園農業支援隊	-
		西堀見守り隊	35
		お琴クラブ支援	1
		わんわんパトロール	-
		登下校見守り隊	40
		木の子クラブ	4
		花植ボランティア	2
		お手伝い隊	-
		めんどり隊	9
合計人数			128
3	片山小学校	生活指導補佐ボランティア	-
		宿題プリント添削サポーター	-
		読み聞かせボランティア	45
		英語活動ボランティア	-
		クラブ活動支援	-
		登下校の安全パトロール	46
		学習プリント印刷ボランティア	42
		農作業体験指導	1
		家庭科授業支援	20
		学校行事応援隊	170
		クリーンサポーター	34
		ベルマーク集計ボランティア	120
		あいさつ運動サポーター	15
		図書点検サポーター	73
		地域関連事業サポーター	37
		学校美化サポーター	15
		校地周辺清掃サポーター	2
片山小学校周辺通学路清掃	1		
合計人数			620

4	第四小学校	おはなしリーフ	20	
		図書ボランティア	6	
		「チロルの森」(ミニギャラリー)・行事支援	60	
		環境ボランティア	30	
		安全ボランティア	9	
		登下校の安全指導(馬場町内会)	20	
		登下校の安全指導(畑中町内会)	20	
		学習ボランティア	30	
		合計人数	195	
5	八石小学校	野寺町会有志によるパトロール	50	
		23地区シルバー見守り隊	15	
		読み聞かせボランティア	15	
		運動会会場整理等	30	
		校内美化活動	30	
		除草活動	30	
		茶道クラブ指導	5	
		保谷アンサンブルによる音楽演奏会	-	
		図書室支援ボランティア	8	
		授業見守り支援	-	
				合計人数
6	東北小学校	ぴかぴか隊	16	
		おはなしよむよむ(子どもと本を考える会)	27	
		農業支援員	1	
		学校行事支援ボランティア	390	
		アルミ缶回収	624	
		北野三丁目防犯パトロール隊	60	
		学習支援ボランティア	50	
		校内音楽会に係る保護者の誘導	10	
		合計人数	1,178	
7	野火止小学校	花いっぱいボランティア	12	
		おやじの会	36	
		防犯パトロール	84	
		図書室飾り付けボランティア	25	
		読み聞かせボランティア	42	
		和クラブ	2	
		朝のあいさつ運動サポーター	16	
		イベントボランティア(全校遠足・わくわくプロジェクト・運動会)	71	
		グリーンサポーター	38	
		ピカピカサポーター	35	
		学習支援ボランティア	36	
		見守り隊	45	
		合計人数	442	
8	野寺小学校	行事応援団	500	
		校舎内外の環境美化活動	80	
		学校図書館応援図書スタッフ	15	
		読み聞かせ	54	
		登下校の安全パトロール	30	
		学習指導の支援・活動への補助	130	
		学校農園支援	10	
		クラブ応援団	20	
		1年生 補助	30	
		合計人数	869	

9	池田小学校	地域防犯パトロールとパトロール隊との交流と日々の安全見守り	53
		学生ボランティア活動	10
		民間企業による出前授業	25
		学校行事サポート	100
		読み語り	20
		学校農園の支援	1
		学校美化活動	40
		ベルマーク活動	40
		学習支援活動	40
		学校環境整備活動	150
10	新堀小学校	楽農会	13
		シルバー見守りボランティア	60
		読み聞かせの会	30
		学習支援（家庭科・生活科・社会科）	20
		防犯パトロール	347
		エレガンスの会	6
		図書ボランティア	15
		華や花会	10
		ハッピーモーニングボランティア	5
		草取りサポート・クリーングリーンサポーター	30
		新堀一丁目見守り活動	8
		わんわんパトロールと新堀二丁目見守り隊	62
		新堀三丁目パトロール隊	8
		1年生スマイルサポーター	20
11	東野小学校	ばたぼん	30
		図書ボランティア	15
		登下校時の安全パトロール	30
		東野ガーデナー	15
		校舎内外清掃ボランティア	15
		父親の会	8
		農業支援員	1
		合計人数	114

12	栄小学校	登下校の安全パトロール	30
		花壇の整備	4
		お茶会	2
		親子除草	109
		校内外安全パトロール	201
		夏季学校図書館開放	-
		朝読書における読み聞かせ	25
		おやじの会	8
		昔遊び	-
		家庭科裁縫実習補助	20
		卓球クラブ補助	-
		クラブ補助	-
		学習ボランティア	8
13	石神小学校	おはなしこんぺいとう（読み聞かせ）	17
		どろんこの会（環境美化）	10
		てしごこんぺいとう（学校図書館）	20
		スクールガード（防犯・交通安全）	455
		おやじの会	10
		学習応援団	5
14	新開小学校	生活科 公園探検ボランティア	10
		生活科 ザリガニつりボランティア	10
		10歳の集いボランティア	10
		家庭科 ミシン学習ボランティア	20
		読書 ボランティア	20
		1年生生活補佐ボランティア	20
		七夕かざり製作・設置ボランティア	20
		節句かざり作成・設置ボランティア	4
		ガーデンプランナーズ	20
		児童の安全見守りボランティア	20
		交通安全ボランティア	3
		授業支援ボランティア	3
		全校遠足見守りボランティア	70
		図書室蔵書点検ボランティア	6
		合計人数	236
15	栗原小学校	学校図書館応援団	15
		読み聞かせ応援団	15
		環境応援団	4
		見守り・あいさつ応援団	8
		お助けママさん	4
		学習・行事応援団	4
		広報応援団	2

16	陣屋小学校	読み聞かせ（おはなしびっくり箱）	20
		シルバーパトロール	5
		中原防犯パトロール	30
		図書室掲示ボランティア	14
		クラブ活動支援ボランティア	3
		学校応援団	60
		学校運営協議会	7
		合計人数	139
17	新座小学校	学校農園支援	54
		家庭科支援	54
		読み聞かせ	54
		図書室支援	54
		植栽	54
		学校施設清掃	54
		学校ギャラリー管理運営	54
		給食ボランティア	54
		学習支援	54
		日本語支援	54
		学校支援	54
18	新座中学校	学校の環境を考える会	60
		学校行事協力	30
		読み聞かせ	30
		あいさつ運動	60
		除草作業	200
		中学校部活動指導員（卓球）	1
		中学校部活動指導員（卓球）	1
		中学校部活動指導員（剣道）	1
		農業支援員	1
		合計人数	384
19	第二中学校	朝の声かけ運動	250
		下校時の安全パトロール	275
		部活動ボランティア	3
		ピアサポーター	10
		学校行事来賓	44
		おはなしの雫	25
		福祉体験活動	10
		環境整備活動	40
		合計人数	617

20	第三中学校	グリーンボランティア	50
		朝の声かけ	70
		学校行事支援活動	85
		クラブ活動指導（バレーボール・剣道）	2
		読み聞かせ	25
		合計人数	232
21	第四中学校	園芸ボランティア	88
		読み聞かせ	20
		あいさつ運動	100
		部活動の支援	7
		学校教育農園	2
		制服などのリユース品の回収・管理	15
		学校協力ボランティア	45
		ピアサポーター	2
		環境整備	3
22	第五中学校	緑化活動ボランティア	118
		校外パトロール	45
		体育祭パトロール	70
		朝あいさつ活動	105
		部活動ボランティア(卓球)	1
		部活動ボランティア(剣道)	1
		五中フェスタ活動	70
		五中アフターチャレンジ指導者	8
		合計人数	418
23	第六中学校	声かけボランティア（堀ノ内町会）	10
		園芸ボランティア	10
		学校教育農園、除草、営繕ボランティア	1
		ピアサポーター	2
		部活動ボランティア（剣道・硬式テニス）	2
		声かけボランティア（北原町会）	20
		声かけボランティア（石原町会）	20

市内合計人数	8,905
--------	-------

新座市学校応援団活動回数(学校順)

令和8年3月時点

学校番号	学校名	クラブ活動支援	(安全、防犯) (校舎内)	(安全、防犯) (校舎外)	学校行事支援	学校図書館	授業・学習支援	環境美化	給食、清掃指導 及び補助	(清掃活動) (校地内外)	体験学習	読み聞かせ	農業支援員	福祉活動	延べ回数合計
1	大和田小学校		0	4280	0	0	87	383	0	0	0	88	5	0	4843
2	西堀小学校	4	2205	638	0	190	75	2034	45	0	0	45	10	0	5246
3	片山小学校	0	0	3113	0	143	37	13	0	195	0	51	0	139	3691
4	第四小学校	0	0	283	6	24	0	0	0	28	8	70	0	0	419
5	八石小学校	35	0	596	12	54	31	41	0	77	0	97	0	0	943
6	東北小学校	0	0	0	179	0	113	134	0	0	0	243	9	0	678
7	野火止小学校	16	0	3656	120	79	335	181	0	0	0	191	0	0	4578
8	野寺小学校	23	0	77	0	46	165	42	86	0	0	203	80	0	722
9	池田小学校	0	0	1852	123	0	197	115	0	0	0	36	0	0	2323
10	新堀小学校	0	0	5225	58	0	58	531	168	0	138	185	0	0	6363
11	東野小学校	0	615	0	32	37	0	360	0	30	0	192	2	0	1268
12	栄小学校	0	220	220	0	0	160	244	0	0	43	220	0	0	1107
13	石神小学校	0	0	6020	5	127	0	74	0	0	0	97	0	0	6323
14	新開小学校	0	0	3595	63	0	65	39	44	0	7	138	0	0	3951
15	栗原小学校	0	158	0	6	81	175	100	52	0	0	143	0	0	715
16	陣屋小学校	46	481	0	176	25	0	0	0	0	0	94	0	0	822
17	新座小学校	0	0	0	0	0	230	0	36	0	0	115	224	0	605
18	新座中学校	220	0	0	48	0	0	309	0	0	0	148	46	0	771
19	第二中学校	9	0	0	0	0	39	13	0	0	0	290	0	0	351
20	第三中学校	202	20	0	104	0	0	57	0	0	0	258	0	0	641
21	第四中学校	260	0	0	4	0	18	159	0	0	0	45	4	0	490
22	第五中学校	120	0	168	40	0	18	145	0	0	0	0	0	0	491
23	第六中学校	260	6150	0	0	0	44	128	0	0	0	0	0	0	6582

総合計延べ回数

53923

令和2年度「学校を核とした地域力強化プラン」の概算要求に係るブロック説明会資料（令和元年9月）
文部科学省総合教育政策局地域学習推進課

地域と学校の連携・協働体制構築事業（旧 地域学校協働活動推進事業）

地域社会のつながりや支え合いの希薄化等による**地域の教育力の低下**や、学校が抱える課題の複雑化・困難化といった社会的課題の解決を目指すとともに、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた基盤として、**地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支えていくため、「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」と「地域学校協働活動」の一體的な推進が必要。**

目標	2022年度までに全小中学校区において、幅広い地域住民や地域の多様な機関・団体等の参画を通じた地域学校協働活動の推進を図る。その際、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）との一體的な推進を図る。
事業内容	「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた基盤となる体制を構築するため、「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」と「地域学校協働活動推進員」を配置し、地域の実情に合わせた様々な地域学校協働活動の総合化、 に推進 するとともに、地域における学習支援や体験活動などの取組を支援する。 「地域学校協働活動」を推進するため、地域と学校をつなぐ「 地域学校協働本部 」の整備を推進するほか、コミュニティ・スクールの導入に向けた取組を支援する。これらの活動を通じ、各地方自治体における地域と学校との連携・協働を進め、社会全体の教育力の向上及び地域の活性化を図る。
補助要件	学校・家庭・地域を取り巻く喫緊の課題の解決に向けた取組に重点化 補助対象 ① 「学校における働き方改革」を踏まえた活動 ② 地域における学習支援・体験活動
概要	① コミュニティ・スクールを導入していること、または導入に向けた具体的な計画があること ② 地域学校協働活動推進員を配置すること



地域学校協働活動

多様な地域学校協働活動のうち、学校・家庭・地域を取り巻く喫緊の課題の解決に向けた取組を必須の活動と位置づけ、重点的に補助を行う。

【重点的に補助を行う地域学校協働活動】

- 「学校における働き方改革」を踏まえた活動
例) 働き方改善策田における以下の活動等を実施。
①登下校に関する対応
②放課後から地間などにおける見守り、児童生徒が帰導されたときの対応
③児童生徒の休み時間における対応
④校内清掃
⑤部活動
- 地域における学習支援・体験活動（放課後等における学習支援活動等）

各学校応援団の実践



新座市立大和田小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

本校の学校応援団は、できることを、できる範囲で、できる人が行う形でご支援をいただいている。学校応援コーディネーターを中心にまとめる地域応援団、PTA運営委員会が調整する保護者応援団、学校が募集して調整する学習支援応援団の3つが連携し、地域一体となって児童の学びを深める活動を進めている。

2 事業の計画

- ・学校安全ボランティア…毎日、児童の登下校等の見守り活動を行う。
- ・学校農園ボランティア…学校教育農園を管理し、栽培活動を支援する。
- ・学生ボランティア…支援を必要とする児童の生活・学習を支援する。
- ・環境整備ボランティア…花植えや水やり、中庭整備、花壇設置等を行う。
- ・ミシンサポーター…高学年の家庭科においてミシンの技術指導を行う。
- ・学校運営協議会委員…年4回、教育活動への助言や学校評価を行う。
- ・読み聞かせボランティア…保護者・地域が連携して読み聞かせを行う。
- ・運動会片付けボランティア…実施後の片付けを行う。

3 事業の実際

本校では学校応援団の協力を得て花壇の整備を行い、年間を通して自然を感じる環境を整備している。来年度体育館建替工事に入り、花壇が縮小するため、保護者・地域ボランティアとともに花壇を設置し、1月には児童と一緒に花植えをした。芝生は児童にも安全で、1年中四季を感じる中庭ができた。農園では、7月にジャガイモ、1月に大根を収穫し販売した。児童と教職員が販売を通して地域の方とつながりを持ち、本校が大切にする福祉への寄付の取組の趣旨を広めることができた。



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

季節ごとの草花の生長を感じる空間を新たにつくる経験を、児童とともに実施できたことは大きな成果である。

(2) 課題

新規のボランティア活動にも協力してくださる方が増えている一方で、校内には整備しきれていない場所があるため、児童の学びを深める施設、活動をさらに増やしていきたい。

新座市立西堀小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

学校・保護者・地域が一体となり、児童の健やかな成長を目指した学校の教育活動を推進することで、相互の信頼関係を構築する。学校が主体となり、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進するとともに、学校・地域・保護者の教育力を高める。

2 事業の計画

- (1) めんどり隊……………低学年、特別支援学級の芋掘り等、体験活動の補助
- (2) 読み聞かせボランティア…保護者や地域の方による月1回の朝の読み聞かせ
- (3) 図書ボランティア…図書室の掲示物の作成、学校図書及び図書室の整理
- (4) 西堀見守り隊……………子供たちの登下校見守り、学区内パトロール
- (5) こすずめ隊……………低学年の懇談会の際に、図書室で子供たちの見守り
- (6) 木の子クラブ……………工作や自然のものをつかった作品づくりの補助

3 事業の実際

「木の子クラブ」の活動

本校、特別支援学級でクリスマスリース作りが恒例となっている。

工作ボランティアの「木の子クラブ」はしめ縄や、正月飾りも得意とされているようだが、今年はリースに統一した。

児童15人に対して6名ものボランティアさんが来校し、手厚い指導や助言をいただいた。材料はすべてボランティアさんの収集した天然の「木の実」「枝」「綿」である。飾りで使用しなくとも、見て、触って、有意義な時間を過ごすことが出来た。



4 取組の成果と今後の課題

本校の学校応援団は、あらゆる教育場面に地域の方々が多く参加し、活動が長年に渡って受け継がれてきている。団体の高齢化と世代の交代が課題であるが、今後も教頭がコーディネーターの方と連携をとりながら、よりよい活動につながるよう調整をはかっていく。

西堀小の特色ある活動として継承していく。

新座市立片山小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

片山小学校応援団は、保護者や地域の方々が子供たちの健やかな成長と豊かな学びを支えるために、協力し支援する仕組みである。学校と連携しながら、子供たちが様々な価値観に触れる機会を増やし、家庭や地域の教育力を高め、活性化することを目的としている。

- (1) 学校・家庭・地域が一体となって元気に活動を推進すること。
- (2) 家庭や地域の教育力を高め、それを学校でも積極的に活用すること。
- (3) 地域の文化や人々との交流を通じて、児童の健全な育成を図ること。

2 事業の計画

- ・ベルマーク応援団…ベルマークの仕分け、集計を行う。
- ・グリーン応援団…植栽や落ち葉掃きを行う。
- ・読み聞かせ応援団…年3回、朝の時間を使って読み聞かせを行う。
- ・図書の特検応援団…図書の蔵書点検の手伝いを行う。
- ・シルバーパトロール隊…毎日、児童の安全確保のために登下校の見守りを行う。
- ・昔遊び応援団…1年生生活科において昔遊びのやり方を子供たちに教える。

3 事業の実際

「読み聞かせ応援団」の活動の様子

年3回、朝の時間に各学級で本の読み聞かせを行っている。保護者が教室を訪れ、児童に向けて魅力的な本を紹介しながら、楽しく物語を読み聞かせている。児童はお話の世界に引き込まれ、本に親しむきっかけを得るとともに、聞く力や想像力、豊かな心情を育てている。また、言葉に対する感覚を養い、語彙や表現力の向上にもつながっている。



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

学校応援団の活動により、児童は地域とのつながりを実感し、自己肯定感や協力する力が育まれた。保護者・地域の方々も学校教育への理解と参加意識が高まっている。

(2) 課題

活動の参加者の偏りや、より多くの家庭・地域住民の巻き込み、持続的な協力体制の構築が今後の課題である。

新座市立第四小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

本校は、開校当時から地域とともにあり、親しまれてきた学校である。地理的には学区の南端に位置している。

コロナ禍で自粛となっていた時期もあったが、PTA活動に熱心で、学校応援団活動と連動している。学習支援や児童の安全確保、校内環境整備などを通して、学校の教育活動の充実に貢献していくことをねらいとする。

2 事業の計画

- (1) 「チロルの森」運営… 地域の方や専門家の芸術作品を定期的に展示する。
- (2) 読み聞かせ活動… 読み聞かせリーフ（団体）及び図書ボランティアの方が年12回、朝の時間に読み聞かせを行う。
- (3) 図書室整備活動… 図書ボランティアが月1回、図書室の掲示や飾り付け、図書整理等を行う。
- (4) 子供見守り活動… 毎日、児童の登下校の安全を確保する。
- (5) 環境ボランティア活動… 除草作業、エアコンフィルター清掃、学校の正門正面の円形花壇の花の植え替えを行う。
他にも地域ボランティアの方が花壇等の整備を行う。
- (6) 学習ボランティア活動… 学習ボランティアの方が地域探検や社会科見学の引率を行う。

3 事業の実際

「チロルの森」の運営は長寿命化校舎改修工事のため休止している。

また環境・ベルマークボランティアのベルマーク活動は、学校応援団活動の見直しにより、現在活動を止めている。

<教育長による読み聞かせの様子>



4 取組の成果と今後の課題

<取組の成果>

読み聞かせは、読み聞かせリーフという団体の方や地域の方がよく来てくださっている。花植えボランティアの方も「家の庭だと狭くて」と学校の花壇で喜んで花植えをしてくださっている。

学校の教職員の負担軽減と児童の教育活動の充実に寄与してくださり、本当にありがとうございました。

<課題>

PTA活動からボランティア制にしたことで、人手は減ってしまっていたが、今年度は、環境ボランティアの方の参加率が上がった。学習ボランティア学校応援団としてさらに充実させていきたい。

新座市立八石小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

本校は開かれた学校づくりのために、学校の教育活動に家庭、地域、外部機関の導入を積極的に行っている。また、HP やメールなどで学校の様子を多く発信している。その一環として、学校、家庭、地域が三位一体となって活動し、「三方良し」を実践していくため、学校応援団活動を行っている。

本年からは、PTA 活動の縮小に伴い、PTA 執行部が主体となった応援団活動も始まった。

2 事業の計画

- ・ 茶道クラブ指導… 4, 5, 6 年のクラブ活動の指導を月 3 回程度実施
- ・ 野寺町会パトロール、シルバー見守り隊… 児童の登下校の見守り
校区内のパトロール
- ・ 読み聞かせボランティア… 年 6 回 朝の時間に各学級に入り、読み聞かせを行う。
- ・ 校内美化ボランティア… 「親子清掃」と名付け、学期に一度、児童の清掃時間に我が子の教室に入り、ガラス清掃を行う。
- ・ 除草作業ボランティア… 年 2～3 回 プール周りの除草作業を行う。
- ・ 学習行事応援団… ミシン学習の補助、校外学習の際の安全見守り、運動会後の片付けなど
- ・ 図書室支援ボランティア… 図書室に季節に合った掲示（装飾）を行う。

3 事業の実際

「親子清掃」（校内美化ボランティア）活動の様子

昨年までは PTA 活動の役割分担の一つとして、放課後に校内の清掃を行っていた活動を、今年度より応援団活動に移行し、内容も「親子清掃」に変更した。大切にしたのは、我が子の様子を見ながら活動をする、一緒に活動する、学級の様子を知る、ということである。PTA 執行部がフォームで参加を募り、当日飛び入り参加も OK とした。短い時間であるが、子どもたちではできないところをきれいにしてくださり、父親や地域の方の参加も見られてきた。

4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

PTA 活動が学校応援団活動に移行し、少しずつ形が整ってきた。新しい活動も始められた。

(2) 課題

参加してくださる方が、限られている。保護者、地域にさらに呼びかけ、参加者を増やしたい。



新座市立東北小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

本校の学校応援団は、学校・家庭・地域が一体となって子供たちの教育を支援するために、家庭・地域の教育力を結集していく組織である。「できる人が できる時に できることを」をモットーに、学校応援コーディネーターが中心となり、よりよい学校づくりのために活動している。令和7年度は、学校行事や学習における補助を昨年度内に取りまとめ、年度当初に学校から保護者・地域へ一斉募集をかけ、一層充実した活動となった。

2 事業の計画

(1) ぴかぴか隊

花壇の整備や除草、樹木の剪定等、校舎外の整備を実施

(2) おはなしよむよむ

月2回の朝の時間に読み聞かせ、学期1回の学級文庫の整理、年に数回の1単位時間を使ったお話の会（特別読み聞かせ）を実施（第1学年：12月18日、第2学年：7月17日）



(3) 学習ボランティア

校外学習（地域見学など）の付き添い、校内音楽会における保護者誘導等、児童の学習をサポート

3 事業の実際

○ 学習ボランティア

2学期に、4年生は「子供自転車運転免許教室」に参加し、自転車の安全な乗り方、交通ルールやマナーを学んだ。約130名の4年生が限られた時間で学びを充実させるため、保護者・地域の方が児童に寄り添いながら補助をしてくださった。



4 取組の成果と今後の課題

- (1) 成果 様々なサポート及び体験活動を通して学校教育が充実し、環境が整備された。
- (2) 課題 地域の新たな人財の発掘が困難になってきている。PTA及び学校運営協議会との連携を図っていく。

新座市立野火止小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

「元祖コミュニティ・スクール指定校」として、「地域とともに豊かな学びを創造し、地域の絆を深める学校づくり」の推進をめざして信頼関係の構築を図るとともに、地域の豊かな教育力を学校の教育活動に積極的に取り入れることで、保護者・地域に開かれた学校づくりをめざしている。

2 事業の計画

- (1) 見守り隊…毎日の登下校時に児童の安全確保のための見守り活動
- (2) 学習支援ボランティア…①新1年生の生活・給食指導の補助
②家庭科のミシン・調理実習の学習補助
③生活科見学・校外学習の際の交通安全補助
- (3) 花いっぱいボランティア…毎週火曜日、校内の花壇等の植え替え、手入れ、草刈り等
- (4) クラブ活動指導員…和クラブ活動における茶道の指導
- (5) 図書ボランティア…月1回、図書室の整備及び掲示物「のびっこの木」の作成、図書室の季節の飾り付け
- (6) 読み聞かせボランティア…月1回、朝活動の時間に10分間の読み聞かせ
- (7) 農業体験支援ボランティア…5年生「のびっ子田んぼ」の田植え、稲刈り、脱穀、精米までの学習支援
- (8) イベントボランティア…PTA行事の運営補助

3 事業の実際

- (1) 花いっぱいボランティア（通称：花ボラ）の活動の様子

本校の学敷地内および学校周囲にある花壇の整備を行っている。毎週火曜日に活動し、花の植え替えや除草作業、落ち葉掃きなどを行った。今年度は、ボランティアの方と児童と一緒に土に触れる機会が生み出した。一点目として、例年1年生で購入する朝顔のプランターを廃止し、学校園を利用して育てることにした。土と肥料を混ぜ合わせ、土にも栄養が必要であることを学ぶ機会となった。二点目は、業間休みの時間に花ボラやPTAのグリーンサポーターの方と一緒に除草作業を行った。地域の大人の方と子供たちが除草作業を通じて、コミュニケーションを図ることに繋がった。



4 取組の成果と今後の課題

- (1) 成果…今年度は、ガーデニングフェンスを購入し、花ボラさんにもガーデニングを楽しんでいただいた。また、SDGsの視点に立ち、植木鉢の寄付をお願いした。地域のプラスチックごみの削減につながる第一歩を歩み始めた。
- (2) 課題…持続可能にするため、各ボランティアとの連絡調整や人員募集、無理のない活動について工夫していきたい。

新座市立野寺小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

本校は、学校環境整備への協力、学習活動の補助、児童の安全確保等への協力を通して、コミュニティ・スクールとして保護者・地域・学校が連携して教育活動を一層充実し、児童の育成を図っていくことをねらいとしている。今年度は応援団の参加者を広げるようにフォームで募集を募ったり、取組の方法を工夫したりした。

2 事業の計画

- ・行事（運動会、除草、体力テスト、学期末の大掃除・窓清掃等）補助
- ・学習補助（ミシン指導、2年生九九検定、1年生公園探検、5年生米作り）
- ・環境整備（図書室の飾りつけ） ・読み聞かせ（毎週木曜日の朝）
- ・クラブ活動補助 ・なわとび検定カウント補助 ・1年生給食補助（4月当初）

3 事業の実際

クラブ活動応援団では、「ジャンプロープクラブ」の大なわを回す補助をお願いした。また、学期末の大掃除応援団には、普段の掃除では児童の手の届かない場所や窓掃除等を手伝っていただいた。さらに、体力テストや2年生のかけ算九九暗唱、5年生のミシン補助など、学習・授業補助でも応援団の方にサポートしていただいた。

6年生の総合的な学習の時間には、キャリア教育として警察官やゲームクリエイターなどのさまざまな職業を持つ保護者の方にゲストティーチャーをお願いするなど、多くの教科や行事などで応援団として来校していただくことができ、子供たちが保護者や地域の方々と交流を深めることができた。



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

- ・「できる時にできることを」が浸透しつつあり、可能な曜日やちょっとした隙間時間に無理をしないで参加する方が多くなってきた。
- ・学校応援団として来校することで、「普段の子供たちの様子が見られるのがいい」「子供と交流できるのが楽しい」という声が聞かれた。

(2) 課題

- ・学校応援コーディネーターと積極的に連携し、学校応援団の活動を周知することで新たな参加者を増やしたい。

新座市立池田小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

- 学校教育目標「健康で よく学ぶ 心のゆたかな子」の具現化を図る
- 学校経営方針「すべての人にとって居心地のよい学校づくり」を目指す
- コミュニティ・スクール推進のための取組として、地域を知り、関わり、地域の人材・環境を学校に取り込む

2 事業の計画

(1) 花いっぱいチーム

- ・年間を通じて花に囲まれた学校環境の整備。PTA を中心とした、花の植栽や休日の水やり等も含めた管理

(2) 学校行事応援チーム

- ・運動会の前日準備や片付けなどのお手伝い
- ・学区探検、全校遠足、芸術鑑賞会などの交通整理や運営補助
- ・地域の方を招いての池小まつりの広報やお手伝い

(3) 学習応援チーム

- ・読み語りなど、年間を通して継続的に行う支援
- ・家庭科のミシン授業補助
- ・長寿命化改修工事に向けた図書整理

(4) 子供見守り応援チーム

- ・下校時や放課後等の地域の見守りサポート
- ・全家庭による見守りパトロール

3 事業の実際

- ・学習応援チームによる図書整理

令和7・8年度に行う校舎長寿命化改修工事に向け、図書室にある本を梱包したり、新しい図書室に戻したりする作業をお手伝いしていただいた。



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

学校図書館の環境整備の推進や学校行事への参加など、保護者・地域住民それぞれの立場から学校にご尽力いただけた。

(2) 課題

少人数精鋭で臨んだが、参加者が一部で偏りができている。学校行事等への早めの情報提供に心がけたい。

新座市立新堀小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

児童の健やかな成長を真ん中に、学校・保護者・地域が一体となり、「できるときに、できる人が、できること」をコンセプトに地域の教育力を学校支援につなげ、学校応援団を組織し、持続可能な取り組みを行っている。三者の連携を深めることをとおして学校教育の充実を推進することをねらいとしている。

2 事業の計画

- (1) 保護者安全見守りサポーター…日常の安全見守り・サポート
- (2) 見守り応援団（わんわんパトロール含）…登下校中の安全の見守り
- (3) 学校運営協議会…教育活動への意見具申、学校運営の評価、校内巡視
- (4) 楽農会・華や花会…学校教育農園の維持、管理、農業体験活動の補助
- (5) 読み聞かせ…月1回、朝の時間に読み聞かせ
- (6) エレガンスの会…月1回のハンドマッサージ、児童への声掛け
- (7) 1年生スマイルサポーター…入学期の清掃・給食補助
- (8) クリーングリーンサポート活動…シルバー人材とともに草取り活動
- (9) ハッピーモーニングあいさつボランティア…月1回正門での挨拶運動
- (10) 学習サポーター…学習のサポート

3 事業の実際

- (9) ハッピーモーニングあいさつボランティア

6月10日の開校記念日にあわせ、毎月10日を学校カラー「スカイブルーデー」とし、保護者は通学班の安全な登校を見守りながら来校し、教職員とともにあいさつ運動をしている。児童・教職員・保護者が「スカイブルー」を身に着け、を盛り上がるとともに、「あいさつ名人」児童の育成に寄与している。

4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

月1回のあいさつボランティアの実施から児童会へ広がり、スカイブルーデー以外にも児童が自主的にあいさつ運動を行う等、校内・校外にわたり、明るい声であいさつをして、コミュニケーション力を高めている。

(2) 課題

保護者・地域に広げ、持続可能な取り組みにしていく。



新座市立東野小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

- ◎「地域とともにある学校づくり」を目指す
- ・学校、家庭、地域が一体となり、地域ぐるみで子供を育てる体制づくり
- ・地域の多様な経験や技術を持つ人たちとの連携・協働（外部人材の活用）
- ・子供たちの安心、安全な環境の確保
- ・できる人が、できる事を、できる時に、できる範囲で

2 事業の計画

- ・清掃ボランティア…大掃除に合わせて掃除の手伝い（窓拭き）
- ・東野ガーデナー…体育館前花壇、あおぞら農園の管理、支援
- ・ぱたぼん…本の読み聞かせと通信の発行
- ・図書ボランティア…図書室の壁面装飾制作、本の修理や書架の整理
- ・農業支援員…1～3年生・あおぞら学級における農園活動の支援
- ・漢字検定実行委員…全学年希望者に向けての漢字検定の運営補助
- ・父親の会…「ミニ四駆教室」、「逃走中」等児童が楽しめるイベントの実施
- ・シルバー見守り隊、スクールガードリーダー…児童の登下校の見守り活動

3 事業の実際

学校応援団の取組として、コーディネーターが中心となり、様々な企画を行っている。

東野小漢字検定として、漢字検定実行委員を募集して、毎年1月後半に漢字検定に取り組んでいる。昨年度も200人を超える児童が参加した。実行委員は受付や教室への案内、試験監督などを行っている。

ぱたぼんの読み聞かせは、年7回実施されており、27クラスに全て配置される。短い時間であるが工夫した読み聞かせを行っている。実施後に発行される通信はわかりやすく、紹介された本を読みたくなる出来栄である。



4 取組の成果と今後の課題

- 学校応援コーディネーターを中心に、各応援団代表によるリーダーシップのもとコロナ禍以前のような活気ある活動が展開できた。
- 各団体の取組により、教職員にとっても負担軽減につなげることができた。
- 応援団の世代交代等による人員不足が懸念されるため、活動内容の周知を積極的に行い人員確保に努める。

新座市立栄小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

本校では、学校教育目標である「自分が好き、友だちが好き、栄が好き」のもと、教育課程を広く保護者や地域に開き、児童の健全育成を目指している。児童が地域の大人と関わり、認められる経験をすることで、自己肯定感を育み、「自分が好き、友だちが好き、栄が好き」となり、将来の地域社会・ふるさとを担っていける人材が育てられると考えている。

2 事業の計画

- ・おはなし隊…月2回程度、木曜の朝時間に読み聞かせ、図書室装飾を行う。
- ・学習支援…家庭科（手縫い・ミシン）の補助をはじめ、生活科の昔遊び、算数の個別指導など様々な教科の補助をする。
- ・えのころぐさ…植栽計画及び花壇の世話・芝生の手入れをする。
- ・見守り隊…登下校時の安全パトロールを行う。
- ・環境美化…芝生の除草、外トイレの掃除をする。

3 事業の実際

1月20日の5校時目に、メイプル学級が、これまでお世話になった地域の方・学校応援団の方へ「最高のお味噌汁」を振舞った。

読み聞かせや昔遊び、ミシンボランティア、見守り、環境美化などでお世話になっている地域の方々に喜んでもらいたいとの思いを伝える場として、子供も学校応援団のみなさんにも大変よい交流の機会となった。



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

応援団と校内との連携が滞りなく進められている。総合的な学習の時間を通じて、これまで以上に地域の力を借りることができた。

(2) 課題

今後も学校応援団への参加者を広く募るため、C4 t h等でPRしていく。

新座市立石神小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

学校教育目標を具現化するにあたり、PTAを核とした学校応援団を組織し、活動にあたっている。保護者や家庭・地域と連携した教育活動を行い、児童の健やかな成長に寄与することをねらいとし実践している。

2 事業の計画

- ・おはなしこんぺいとう…月1回、朝読書の時間に読み聞かせを行う。
- ・てしごとこんぺいとう…図書室内の装飾や本の修理、蔵書点検の補助を行う。また、図書イベントで使用するしおりや景品を作成する。
- ・どろんこの会…学校敷地内の環境整備及び学校前の「ふれあいの路」を整備する。特別支援学級の児童や委員会児童と植栽活動を行う。
- ・おやじの会……運動会の保護者誘導やテント等の片付けを行う。
- ・防犯パトロール…地域の方が中心となり、登下校の見守りを行う。

3 事業の実際

「どろんこの会」の活動の様子

月第2・4火曜日に植栽活動を行っている。児童との植栽活動は、特別支援学級児童、委員会児童、1年生の児童を対象に年に3回行われた、ボランティアの方に植栽の方法を教えてもらい、丁寧に植える姿が見られた。ボランティアと児童だけの楽しい時間を過ごしている。



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

- ・今後も継続できる活動となるように工夫しながら実践することができた。
- ・これまでは学校前の道「ふれあいロード」の整備だけだったが、学校敷地内の花壇も整備してもらうことができた。

(2) 課題

- ・各応援団の参加者が増えるよう、募集の方法を工夫し、手立てを考え実践する必要がある。
- ・おやじの会の活動を増やし、環境整備につなげていく必要がある。

新座市立新開小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

学校・家庭・地域が一体となって子供たちの育成と学校の活性化を図り、家庭や地域の教育力の向上を目指すとともに、開かれた学校づくりを推進している。本校の教育目標は「かしこい子、心ゆたかな子、たくましい子」である。実践のねらいは子どもも保護者も地域も教職員もウェルビーイングを実現できる学校づくりにある。

2 事業の計画

- (1) 読み聞かせ「おはなしひろば」…月1回、朝の時間帯での読み聞かせ
- (2) 生活補佐員…新入学生の給食配膳の補助（例年4月～5月初旬まで）
- (3) 花植えボランティア…児童玄関前にて季節ごとの花の植え替え作業
- (4) 全校遠足見守りボランティア…地域の公園で行う全校遠足で、安全の見守り
- (5) 飾り作成・設置ボランティア…七夕や節句における飾りの作成及び設置
- (6) ミシン学習ボランティア…家庭科ミシン学習の支援及び補助
- (7) 児童の安全見守りボランティア…登下校時における児童の安全見守り活動
- (8) 授業支援ボランティア…授業において配慮が必要な児童への支援
- (9) 図書室蔵書ボランティア…蔵書点検、図書の整頓
- (10) 10歳の集いボランティア…4年生対象に集会と記念品作成

3 事業の実際

《10歳の集いボランティア》
1月30日の放課後の時間帯に、体育館で4年生を対象に「10歳のつどい」を開催した。これは、本校独自の取組で、有志のボランティアが、体育館でドッジボールやタイムカプセルの作成を企画し、10歳を祝う催しである。ボランティアは、当日に向けて物品の購入や準備、会場設営などに取り組んだ。放課後の時間ではあったが、当日は多くの児童が参加し、楽しむ姿が見られた。



4 取組の成果と今後の課題

- (1) 取組の成果
 - ・学校応援団のご協力のおかげで、円滑な学習指導及び、学校運営を行うことができた。ボランティアの方々も役立つ喜びを感じていらっしやるようだった。
 - ・児童の安全の確保や学びの環境を整えていただくことで、学習意欲の向上、豊かな心の育成、大人と絆の深まり等、良い影響をもたらした。
- (2) 今後の課題
 - ・参加者の参加が減少傾向にあるので募集方法等を工夫していく。

新座市立陣屋小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

「地域や保護者と共にあるコミュニティ・スクール陣屋」の推進のために、家庭を含む地域全体で学校教育を支援する体制を構築し、教職員が子供たちと向き合う時間を確保すること、家庭・地域の教育力に活性化を図ること及び教育環境に潤いを持たせることをねらいとしている。

2 事業の計画

- ◇読み聞かせボランティア…「おはなしびっくり箱」として、毎月1回、各教室で読み聞かせを行う。(月1回 木曜日 13:00～13:10)
- ◇図書掲示ボランティア…季節に合わせて図書室の壁などを装飾する。
- ◇クラブ活動支援ボランティア…茶道クラブ、和太鼓クラブそれぞれに外部指導者が関わり、専門的な指導や助言を行う。
- ◇授業支援ボランティア…ミシン操作の補助を行う。
- ◇校外学習支援ボランティア…校区内や市内の徒歩による校外学習の際に交通安全を中心とした見守り支援を行う。
- ◇そのほか…親子清掃、スモールガーデン花植え等で児童とともに活動を行う。

3 事業の実際

◇スモールガーデン花植え

学校中庭にあるスモールガーデンの整備、花植えを行っている。(6月・11月) 9時ごろにスタートし、これまでの花や雑草を取り除き、腐葉土などを入れる。その後、新しい花苗を花壇内に配置する。業間休みになると、環境美化委員の児童も集合し、一緒に花を植える活動を行う。活動後には、授業の様子なども自由に見てもらっている。



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

- ・教員以外の大人と関わることにより、子供たちの学びがより豊かに、充実したものになる。
- ・教職員以外の方から、教育活動への様々なご意見を伺うことができる。

(2) 課題

- ・協力してくださる方が固定化されてきている。LINEのオープンチャットをさらに活用するなど、広報活動を強化して参加者を増やしたい。

新座市立新座小学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

「できる人ができる時にできる事」を合言葉に、多くの方に学習支援、学校農園やギャラリー管理運営、図書室支援などの実践に取り組んでもらうことで、開かれた学校づくりを実現している。

2 事業の計画

(1) 学習支援

- ① 家庭科支援…5・6年生ミシンの操作支援及び、点検
- ② 学校農園支援…畑での野菜作り、校内の田んぼでの田植えから脱穀、しめ縄作り等
- ③ 読み聞かせ…月1回全学級において読み聞かせ実施
- ④ 授業支援…町探検やザリガニ釣りなどの校外での学習補助
- ⑤ 日本語支援…日本語を母語としない児童への教科書読み聞かせ

(2) 学校生活支援

- ① 1年生給食補助…入学当初の1年生の給食指導補助

(3) 環境支援

- ① 植栽活動…学校花壇の整備
- ② 図書室支援…月1回程度 本の整理及び補修、図書室の飾り作成
- ③ 学校施設清掃…学校清掃、草取り等



3 事業の実際

本校では、今年度、国語科を中心とした研修に取り組み、その中で読書を推進している。その取組に学校応援団が寄与している。毎月行われる「読み聞かせ」では、朝の時間を活用して全学級で学年に応じた読み聞かせを行っている。また、図書室支援では、国語の教科書に出てくる「くじらぐも」の掲示物を作ったり、本のカバーを活用したバックを作ったりなど、児童の読書意欲を高めている。また、外国籍児童を対象として、教科書や絵本を読むなど、日本語学習のサポートをしている。

4 取組の成果と今後の課題

学校応援団の支援により、教職員だけでは行き届かないところまで充実した教育活動を行うことができた。学校環境美化や授業準備を補助していただき教職員の負担軽減につながった。

一方、共働き家庭の増加や、高齢化により応援団の参加者が減少しているため、学校応援団活動を広めていき、参加者を増やしたい。

新座市立新座中学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

県内中学校第1号コミュニティ・スクールとして精力的に取り組んでいる本校は、学校教育目標「強く 明るく 考える」と経営方針「地域が元気（地域の誇り、地域の財産、コミュニティ・スクール）」を推進しており、学校の活性化と教育力の向上を目指して、保護者と地域が一体となって学校を支援するさまざまな活動を実施している。

2 事業の計画

時 期	事 業 内 容
年 間	校庭・中庭除草、読み聞かせ、部活動ボランティア指導、図書ボランティア、農業支援員、学校運営協議会
随 時	新座グリーンキャンペーン（花壇アート）

3 事業の実際

【新座グリーンキャンペーン、除草の様子】

地元企業と環境委員会の合同事業として、昨年までの「人工芝プロジェクト」を引き継ぐ形で「花壇アート」を作製した。地元企業を通して作品を応募している。

除草作業は校庭、中庭合計8回に加え学校応援団の有志で機械を入れて大規模に実施し、美しい環境の維持に貢献している。



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

学校の取組についてPTAを通して調整いただき、この作業体験を通して地元企業と交流する機会を得ることができた。「自分たちにとって心地よい居場所づくりを生徒自身が行い、継続して維持・管理する姿勢を学ぶ」取組を継続していくことで保護者と地域、生徒の手による学校環境の充実を推進している。

(2) 課題

雑草が繁茂する時期と熱中症対策の時期が重なり、長時間の活動ができなかった。今年度から参加者募集をGoogleformで行ったところ、多くの人数が集まったが、複数回の参加者が多く参加の偏りがあった。

新座市立第二中学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

家庭・地域と協力して、生徒の健やかな育成を図り、生き生きとした元気な学校づくりを目指す。

- (1) 学校・家庭・地域が一体となった教育活動を展開することにより、活力のある学校づくりを推進する。
- (2) 地域にある有益な教育力を学校教育に活用する。

2 事業の計画

- ・ クラブ活動支援（R 7は卓球部及び吹奏楽部）
→年間を通じて部活動における専門的な実技指導を行う。
- ・ 学習支援（ピアサポーター）
→臨床心理系学部の大学生が、校内教育支援センター（スマートスタディールーム：通称スマスタ）の生徒等への学習支援を行う。
- ・ 学校行事支援
→校外学習における引率教員のサポートと生徒の活動支援を行う。
- ・ 読み聞かせ「おはなしの雫」
→月3回（学年毎）、金曜日の朝読書の時間に読み聞かせを行う。
- ・ 環境美化→6・9・2月の花植えと年間を通して花壇の手入れを行う。

3 事業の実際

長寿命化工事の最終年度を迎え、2学期以降は校地内の環境美化活動が進められるようになり、季節毎の美しい花々でにぎやかに学校行事開催を彩っていただいた。また、今年度登録のあった5名の臨床心理学部の大学生ピアサポーターが、校内教育支援センター（スマスタ）の生徒と学習面や心の成長につながる日常的な関わりを継続している。

4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

学校行事開催に合わせて環境整備をしていただき、色鮮やかな花々で生徒や来校者の心に活気を与えてくれた。

異年齢の方々との多様な関わりがキャリア教育につながった。

(2) 課題

学校に多種多様な人材を招聘する際の信頼性の確保や個人情報取扱いに関する配慮事項の確認について引き続き徹底が必要である。



新座市立第三中学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

「生徒一人一人の力が伸びる学校」の実現をめざして信頼関係の構築を図るとともに、アイデアと工夫で地域の豊かな教育力を学校の教育活動に積極的に取り入れ、保護者・地域に開かれた学校づくりをめざしている。

2 事業の計画

- (1) 朝の声かけボランティア…年4回活動し、8:00～8:30正門～サンロードであいさつ運動を行う。
- (2) グリーンボランティア…年2回、校内外の花壇・植栽等の植え替え、手入れ、草取り等を行う。環境委員会、PTAボランティアと連携。
- (3) 部活動ボランティア指導員…部活動の際、専門的指導を行う。
- (4) 学校行事ボランティア…体育祭での駐車場、交通整理等をサポートする。
- (5) 読み聞かせボランティア…月2回～3回、朝読書の時間に10分間の読み聞かせを行う。
- (6) バザーボランティア…10月の三中バザーの準備、運営、片付けを行う。

3 事業の実際

「グリーンボランティア」の活動の様子

年2回の活動を行なっている。学校の花壇を中心に生徒が気持ちよく生活できるようにと整備や花の入れ替えをしている。

保護者を中心に多くの人に参加し、整備されたあとの花壇を見て生徒たちの喜ぶ姿が見られる。



「読み聞かせボランティア」の活動の様子

毎月、学年ごと又は二学年ごとに各クラスで読み聞かせを行っている。

各クラスに1名ずつ入り読み聞かせをしている。学年共通で同じ本の時と、読み手が自由に選んで読み聞かせている時とある。どちらにしても、子どもたちは真剣に聞いている。



4 取組の成果と今後の課題

- (1) 成果…教育環境の充実につながり、また学校と保護者・地域との絆が深まった。
- (2) 課題…ボランティアによっては、高齢化や固定化しているため、人員募集をしていく必要がある。

新座市立第四中学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

- 本校の学校教育目標である『夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校』の具現化のため、学校応援団を組織し、地域で子どもをはぐくむ魅力ある学校づくりを推進する。
- 学校応援団は、学校環境整備への協力・支援、生徒の安全確保への協力・支援などをおして生き生きと学ぶ生徒の育成と、学校教育活動の一層の充実に資することを目的とする。

2 事業の計画

- (1) 学校応援団の活動（環境整備、読み聞かせ 等）
- (2) 学校応援団の活動の実践
- (3) 今年度の反省と次年度の活動への検討

3 事業の実際

昨年度に引き続き2回実施した草バスターズは、どちらも職員、生徒、保護者、地域で実施した。しかし、1回目の実施では地域への周知が十分でなく、人数が集まらなかった。

その反省を受けて実施した2回目は、事前に学校だよりと共にチラシを配布したり、学校ホームページや正門付近の掲示板等で十分に周知活動を行ったりしたため、総勢40名の方々に集まることができた。さらに、地域の方々が農機具を持ってきてくださったため、これまでで最も広範囲の除草を行うことができた。体育祭を間近に控え、すばらしい環境を整えることができた。



4 取組の成果と今後の課題

(1) 成果

草バスターズの取組は、学校、地域、家庭が触れ合える機会ととらえている。参加して下さった地域の方々の中には、お子さんが本校の卒業生であった方も少なくない。「子供がお世話になったので」「久しぶりに四中に來られて嬉しい」という声を聞くと、この応援団活動の持つ意味の大きさを実感する。参加して下さる方々の思いは一人一人違うと思うが、地域の方々にとっても四中という場が、その思いを実現できる場になることが、学校応援団活動の持続可能性を高めるのではないかと感じる。今回の活動は、職員の負担軽減、生徒の学習環境の整備という学校にとって大きなメリットがあるが、それと同時に地域や保護者の皆様にとってもメリットがあるような活動を今後も計画していきたい。

毎月の「クローバーの会」による読み聞かせは、1学年ごと実施し、生徒は興味をもって読み聞かせを聞き、本に込められたメッセージを感じ取ることができた。生徒達は心の面でも、たくさんの方々から見守られていることを実感できる貴重な機会となっている。

(2) 課題

学校応援団の活動については、学校だよりやHP等に掲載することで、参加者の拡充を図っているが、現状に大きな変化はない。今年度の草バスターズの取組のように、地域と連携した組織づくりを進めていくためにも、他の活動についても活動を広め、拡大できるように努めていく。

新座市立第五中学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

本校の学校教育目標は「友愛・向上・自主自律」であり、この目標の具現化や開かれた学校づくりの推進のため、学校での教育活動を支援する保護者や地域住民によるボランティア活動組織として「第五中学校学校応援団」がつくられている。

実践の主たるねらいは、以下のとおりである。

- (1) 家庭・地域の教育力の向上と学校教育への積極的な活用
- (2) 学校・家庭・地域の活力を束ねる活動の推進
- (3) 地域の人々との交流を通じた生徒の健全育成である

2 事業の計画

- (1) 学校運営協議会
- (2) 緑化活動ボランティア
- (3) 校外パトロール
- (4) 体育祭パトロール
- (5) 朝のあいさつ活動
- (6) 部活動ボランティア(卓球)
- (7) 部活動ボランティア(剣道)
- (8) おはなしの泉(読み聞かせ)
- (9) 五中アフターチャレンジ教室



3 事業の実際

【五中アフターチャレンジ教室】の活動の様子

地域の学習塾の協力による学習支援活動として「五中アフターチャレンジ教室」を合計6回(各学年2回)行った。地域の学習塾の皆様には、地域全体の学力向上は塾の使命の一つだとおっしゃってくださり、無料で御協力をいただいた。

4 取組の成果と今後の課題

(1) 取組の成果

地域の塾と連携することで、地域全体で生徒の学力向上を推進することができた。各塾独自の工夫に触れることができ、学習のコツや学ぶことの楽しさに改めて知ることができた生徒も多く、参加した生徒にとって大変有意義な時間となった。

(2) 今後の課題

学習塾と日程等が合わず、昨年度より御協力いただけた学習塾が少なくなってしまうことが課題である。本取組について、より多くの学習塾の方々にPRし、御理解、御協力をお願いしていきたい。

新座市立第六中学校の学校応援団の実践

1 実践のねらい

本校の教育目標は、「自主・責任・明朗」である。学校応援団は、学校環境整備への協力・支援、生徒の安全確保への協力・支援などをおして生き生きと学ぶ生徒の育成と、学校教育活動の一層の充実、さらに登下校等の安全確保に資することを目的とする。

2 事業の計画

- ・声かけボランティア「朝のコミュニケーション運動」
校区内7か所で年4日間、あいさつ運動を展開する。
- ・花壇ボランティア
年2回生徒会（美化・緑化委員）とともに、花壇の花植え活動を行う。
- ・学校行事支援ボランティア
行事を中心に、受付、駐輪場整理など、運営面での支援を行う。
- ・読み聞かせボランティア
毎学期、朝の業前の時間に各クラスにおいて読み聞かせを行う。
- ・学校運営協議会
授業参観等をおして生徒の実態を把握し、教育活動への助言を行う。
（年6回の実施）

3 事業の実際（「花壇ボランティア」の活動の様子）

地域や元PTAの方にご協力いただき、「花壇ボランティア」の活動を実施した。今年は、民選委員さんにも参加いただいた。

学校応援団の方には、資材の購入や下準備もやっただいている。「美化・緑化委員会」の生徒との一緒になって花植え活動等を行ったり、特別支援学級の生徒と野菜作りを行ったりしている。



4 取組の成果と今後の課題

（1）成果

専門性を持った地域人材の活用により、生徒の学習活動の質を高めることができた。また、地域の方とのかかわりを持つことで、社会性を身に付けるとともに、地域への理解・愛着が深まった。

（2）課題

学校応援団について地域に周知し、活動に携わる方を増やして行くことが必要である。また、PTA活動の縮小化に伴い、来年度は新たに学校応援団の在り方を模索していかなければならない。

令和7年度新座市教育委員会学校支援地域本部

発行日 令和8年3月